

番号	氏名	抱負
051	大倉 保彦	診療放射線技師としての臨床経験および大学教員かつ研究者の立場を生かし、診療放射線の研究領域の発展、学会の持続的発展ならびに若手学会員の育成に貢献したいと思っております。また、学会の国際的活動にも貢献したいと考えています。
052	太田 誠一	関西にて放射線治療の研究会の代表をつとめております。地域での活動や研究会を通じて皆さんから頂いたご意見を中央に反映することは研究会に課せられた重要な役割であると考えております。また、現在、平成25、26年度代議員および教育委員会委員(放射線治療担当)をつとめさせていただいており、微力ながら委員会活動を通して学会貢献させていただいております。よろしくお願いいたします。
053	大野 和子	放射線診療の進歩に伴い、チーム医療の必要性もこれまでに増している。また、放射線医療に関連した創薬、装置開発、安全利用などの様々な研究分野においても、多職種の協同研究が不可欠である。放射線科医師の立場で日本放射線技術学会に参加することにより、日常診療や研究の現場における職種間の有効な連携に寄与するだけでなく、その発展にも貢献出来ると考えている。
054	大野 誠一郎	日本放射線技術学会を構成する会員の大多数は診療放射線技師であり、診療放射線技師の教育や技術の発展に大きく貢献している伝統のある学会です。診療放射線技術は、病院の中でも重要な位置を占めています。地方の岡山から、地方の会員の意見を中央に、さらに地方を活性化することにより学会を盛り上げていきたいと考えています。国際化に向けて、中四国地区においても浸透していくよう努めたいと考えます。
055	大野 剛	熊本大学助教の大野と申します。今回、学術大会等で自身の発表の場を与えて頂いております日本放射線技術学会に対して、貢献できればと考え、大学などの研究機関と臨床現場との研究協力の強化、放射線分野の教育活動の拡充、国際活動の推進を目標に、立候補させて頂きました。まだまだ未熟な身ではございますが、皆様のお役に立つように頑張りますので、応援を頂けると幸いです。宜しくお願い致します。
056	大野 肇	もう体は大分くたびれてきましたが、自己研鑽並びに若手技術者の育成のために努力し、日本放射線技術学会のさらなる発展のために尽力して行きたいと考えております。よろしくお願いいたします。
057	大野 吉美	
058	大橋 一也	臨床現場で必要とされる放射線技術を目指して活動して行きたいと思っております。
059	小笠原 克彦	
060	小笠原 将士	現在の日本の医療の中で、日本放射線技術学会が国民に何を提供出来るか、画像診断や放射線治療の学会活動を通して日本医療の未来に何をどうやって貢献することができるのかをしっかりと考えていくことが大切であり、それが日本放射線技術学会の役割の一つではないかと考えます。微力ではありますが、その一端を担えればと思っております。よろしくお願いいたします。